

科目名	単位数	年次・コース	選択群	教科書・出版社名	副教材・出版社名
国語総合	2 (5単位を 分割履修)	2年 情報ビジネス科 システム工学科	必修	明解 国語総合【改訂版】 (三省堂)	新常用漢字必携 パーフェクトクリア (尚文出版)

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次の国語総合において身につけた基礎学力を、より定着・向上させる。 ・国語を適切に表現し、的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高める。 ・思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨く。 ・古文に親しみをもち、現代との違いを想像することにより、ものの見方、感じ方、考え方を広げる。 ・漢文を読む能力を養うとともに、人生を豊かにする態度を養う。
主な学習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・評論文の学習を通して、論理的に表現される文章を正確に読み、理解する力を養う。 ・随想・小説を中心に近現代の様々な文章から人の心情や思考を読み取ることで文学作品を味わう。 ・漢字や語句の基礎知識を学び、演習を行う。 ・文章を書く上での基本的な事項(原稿用紙の使い方等)を学習する。 ・古文を学習する上で、1年次に学んだ基本的な事項をもとに、物語や随筆等を読み味わう。 ・漢文を学習する上で、1年次に学んだ基本的な事項をもとに、文章や漢詩を読み味わう。
評価の 観点・規準	<ul style="list-style-type: none"> ・「関心・意欲・態度」国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。 ・「読む力」文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。 ・「書く力」目的に応じた文章を適切な表現で書き、自分の考えをまとめ、的確に伝えられている。 ・「話す・聞く力」目的や場に応じて正確に聞き取ったり、効果的に話したりして、自分の考えをまとめ、深めている。 ・「知識・理解」伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査にて「書く力」「読む力」「知識・理解」を判断・評価する。 ・提出物では、「関心・意欲・態度」の度合いを判断・評価する。 ・漢字の小テストでは「関心・意欲・態度」「知識・理解」の度合いを判断・評価する。 ・授業への取り組みを通し、「関心・意欲・態度」「話す・聞く力」の度合いを判断・評価する。 ・総合的に「関心・意欲・態度」「読む力」「書く力」「話す・聞く力」「知識・理解」を評価する。

学期	内容
1 学期	<p><現代文></p> <ul style="list-style-type: none"> ・評論文において、論理的な文章の展開・構成を明らかにし、筆者の主張を捉えられるようにする。 ・言葉への認識を深め、言語生活に生かせるようにする。 ・小説作品を読み、味わい、人間に対する洞察力を高めるようにする。 ・詩もしくは短歌俳句を鑑賞する。
	<p><古典></p> <ul style="list-style-type: none"> ・古文編の文章読解を通して、文法事項を復習しながら、昔の日本文化を理解し、文章を味わう。 ・漢文編の文章読解を通して、漢文の基礎を復習しながら、古代中国人の考えを理解し、文章を味わう。
2 学期	<p><現代文></p> <ul style="list-style-type: none"> ・評論読解を通じ、論理的な文章の読解力を高め、筆者の主張をよりの確に捉えられるようにする。 ・身近な題材をめぐる随想を読み、筆者の考察の深まりを理解する。作品を通して描かれた時代の風俗・生活ぶりについて理解を深める。
	<p><古典></p> <ul style="list-style-type: none"> ・古文の随筆の読解を通して作者のものの見方、考え方を読み取れるようにする。 ・漢文編の文章読解を通して、古代中国人の考えを読み取れるようにする。
3 学期	<p><現代文></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小説作品を読み、表現の中に含まれた作者の深い洞察を読み取る。
	<p><古典></p> <ul style="list-style-type: none"> ・唐詩を読み、味わうことにより、漢文の読解力を高め、鑑賞力を養う。 ・唐代の代表的な詩人について、詩形・押韻・構成など漢詩の基礎知識を得る。

備考 ・ 講座の特色 ・ 履修条件 ・ 注意事項 等	提出物や教科書ノートなどを忘れないようにして下さい。 授業態度を重視します。
--	---